

行政相談員は、皆さんの行政に対する悩みや相談を聞き、関係する行政機関に連絡を取って解決を図る業務を行います。民生委員とも似ていますが、田んぼの水の問題や高木の伐採など、より行政的な相談を受けることが多いです。就任して3年目を迎えますが、話を聞くことで安心される方も多く、行政には直接話づらい悩みがあることを実感しています。今後も親身になって相談に乗りますので、困り事や悩み事があればご相談ください。



行政相談員
萩崎 まり子 相談員

青色防犯パトロール隊は、防犯への意識向上や犯罪抑止活動として「青色回転灯」を装備した自動車、通称「青パト」による巡回活動を行っています。川西町内会地域安全パトロール隊は、平成18年に発足し、現在27人の隊員と17台の青パトで活動しています。川西地区は、土地も広く、人も学校も多い地域。「地域の安全は自分達が守る」を目標に、行政・学校・警察等と連携しながら、青パトでの巡回や登下校時の児童生徒の見守り、環境美化活動などを通じて町内の安全を守っていきます。



青色防犯パトロール隊
川西町内会地域安全パトロール隊
下清水 一己 隊長

交通安全協会は、警察などと連携し交差点や歩道で安全運転の注意喚起を促す立哨活動や、小・中学校での交通安全教室などの活動を行っています。そのほか支部独自の活動として、地域で行われる様々なイベント時に事故が起きないように見守る活動にも取り組んでいます。交通安全は私たち一人ひとりの最も身近で日常的な問題です。被害者・加害者を出さないためにも、各事業所にいる安全運転管理者など地域の皆さんと連携し、日頃から交通安全教育の実施に取り組んでいきます。



鹿屋市交通安全協会
吾平支部
三嶋 晃 支部長



鹿屋市人権擁護委員協議会
こども人権委員長
南田 武法 委員

人権擁護委員は、人権相談を受けて問題解決のお手伝いや被害者の救済、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。中でも、人権の花運動やSOSミニレター、人権教室や人権作文など子どもたちに関わる活動を主に取り組んでいます。「人権とは何か?」ということで、相談を迷われている人も多いかと思いますが、私たちは何よりも聞くこと・耳を傾けることが大事だと考えていますので、何でもご相談ください。



消防団員は、普段は自分の仕事をしながら地域の防火・防災の担い手として、有事には消火・警戒などの消防活動を行っています。私は機関員として月に2回の消防車の点検作業や、現場で消防車を迅速に取り扱う仕事を担っています。地域に密着して活動する消防団に入団したことで、地域を守るという共通認識のもと仕事や地域のことを話し合える知り合いが増えました。これから新しい団員も入団しますので、地域の安全と分団の活性化をより図っていききたいと思います。



鹿屋市消防団 吾平中央分団
茅場 博人 団員

縁の下からまちを支える

今月の特集は、様々な形でまちを支える市民の皆さんを紹介します。学び、働き、子育てをし、老後を生きていくうえで、悩みや不安は様々な過程で生じます。そのような人たちの相談を聞いたり、支援を行ったりと「縁の下からまちを支える」人々。そこには、地域を良くしていこう、社会に貢献しようという意欲的に取り組む姿があります。このまちは、色々な人々の色々な活動によって支えられています。

かつての地域社会では「おたがいさま」といった相互扶助により、暮らしが支えられてきました。不安や悩みを相談できなくて、生活を支えていくことができなくなりました。しかし、人々の生活様式の変化や多様化などに伴い、地域社会を構成する基本である家族のつながりや地域の人と人のつながりが弱まっています。このような社会構造の変化により、地域を支える担い手は地域運営組織やまちづくり団体、地域福祉活動を行う団体など多様な形態が見られるようになり、今では社会を支える中心的な役割を担っています。地域で活動する人たちの動機や仕事内容は様々。「私は、自分を救ってくれた皆さんへの恩返しのため」、地域活動で貢献できたから」と話してくれた方もいます。このように地域に住む人々がその地域を支え、より良くしていけるように貢献することで、活気と思いやりのあふれるまちを築いていくことができるのではないのでしょうか。